

検 印	校長	教頭

令和5年度【芸術・美術I】年間学習指導計画(シラバス)

科目名	対象学科・学年	単位数	履修	教科担当者氏名 印
美術I	国際文科 理数科 普通科 一学年	2単位	選択	平良みどり

1. 【芸術】科の目標

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

2. 【美術I】の目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3. 【美術I】の概要

デザイン、彫刻、絵画、工芸、沖縄の伝統工芸、といった表現を含む複合的な課題を通して、主題の生成から表現の確認及び完成に至る全過程を通して、美術の総合的理解と、創造的な表現を培う。

4. 【美術I】の到達目標

1. 美術の学習を通して、基礎的な技量を身に付け、表現形式の選択及び作品を具現化する為の作業計画など、構想する力を育み、意図に応じた創造的で多様な表現方法の工夫ができる。
2. 1, をふまえた上で、美術の総合的理解と感性を高め、芸術性豊かな鑑賞及び展示する力を身につけ、より美術を楽しむことができる。

5. 評価の観点

授業内容に関心をもち、意欲的な態度で取り組む。また、基礎的な技法及び課題を理解し、自己が意図する表現への工夫からより創造的な表現への取り組みを行っている。作品の自己評価といった自己の目標達成度における評価をする。

6. 成績評価の方法

製作段階での取り組み方
完成作品及び提出物の評価
定期考査

7. 使用教材

- ①教科書名(会社名): 高校美術I (光村図書出版)
- ②副教材 :
- ③指定(推薦)辞典 :

8. 履修上の注意

美術の基礎的な表現及び鑑賞する力を身に付けると同時に、「芸術科」らしい美術の幅広い創造活動を元にした、美術の総合的理解をはかるよう心がける。

9. 年間指導計画及び授業進度予定表

学期	月	単元・題材	指導内容・指導項目等	時数	重点（指導）目標	評価の観点	備考（準備）
1 学期	4	オリエンテーション・美術1について	一年間の学習内容の紹介と説明	2	自己表現や感性についての説明や考え方について		教科書
		沖縄伝統玩具作り	沖縄伝統玩具である馬ぐわ、蛙ぐわ、星ッコロを制作。沖縄の伝統玩具についての関心を持ち、線～面～立体へと変化する編みの技法を学ぶ。		平面図を読み取り、立体として置き換え、編みの仕組みを理解する。 素材の特徴を知る。	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	クラフトテープ 木工用ボンド
	4	造形・彫刻 土器制作 (鑑賞)	焼き物の分類と原料について説明。 焼き物の成形、装飾技法、完成工程までを学ぶ。 日本国内外の土器を図版で鑑賞し、多様かつ自由な造形表現があることを知る。 デザインを考える。	10	焼き物分類と原料について理解する。 焼き物の成形、装飾技法を完成工程までを理解する。 手びねり技法を用い、オリジナルデザインの土器が造れたか。 スプーンによる磨き工程がなされているか。	知識・技能 思考・判断 主体的に学習に取り組む態度	陶土、粘土べら、粘土板、スプーン、化粧土、掻きだしべら
5		片づけ方法について説明	道具の取り扱い方法ができているか				
	6						

2 学 期	9	絵画 ある風景 (鑑賞)	自らの作品及び友人の作品を鑑賞し、創作意図や表現方法の多様性を知り、今後の制作意識を高める。	6	客観的に自らの作品を鑑賞し、作品の完成目標まで、計画的に進めることができたか。	鑑賞	
	10	デザイン 版画 シルクスクリーンによるマイバック制作	様々な版画技法（凹版、凸版、平板、孔版）や特徴を知り、オリジナルマイバックを制作する。		シルクスクリーンプリントの特徴や技法を理解できたか。	知識・技能	バック、スクリーン版、デザインカッター、インク、マスキングテープ
	11		シルクスクリーン技法のについて学ぶ。	22	多版多色による配色や構図が、日常使いの製品として、バランスがとれた作品になっているか。	思考・判断・表現	
	12		沖縄の紅型や日本の染物の型紙を資料見ながら学び、自分のデザインに生かす。 アイディアスケッチをする。		インクの特性を理解し、作品の完成目標まで、計画的に進めることができたか。	主体的に学習に取り組む態度	

2学期の授業時間数 合計 28 時間							
3 学 期	1	陶芸 デザイン 木彫 ・ my マグ カップ制作	陶器について理解する。 電動ろくろの操作方法を習得し、マグカップ制作をする。	18	一学期に学んだ焼き物分類と原料、完成までの工程を理解したうえ、計画的に作品を完成させることができたか。	知識・技能	電動ろくろ、陶芸用小道具、
	2	・ 木彫オリジナルペーパーナイフ制作	マグカップの形と取っ手のバランスについて学ぶ。 素材の特徴と加工方法を学び、オリジナルペーパーナイフを制作する。		素材の特性と加工方法を理解し、デザイン画に近づいた完成になったか。	主体的に学習に取り組む態度	のこぎり切り出しナイフ、彫刻刀、サンドペーパー
	3	アイディアスケッチをし、自分の作りたいデザインを明確にする。	自らの求める形に到達するための道具選びができたか。				
3学期の授業時間数 合計 18 時間							
到達目標を達成できたか A(80～100%), B(50～79%), C(～49%),			〈次年度にむけての課題〉			年間授業時間数 72 時間	

